

多治見市新火葬場建設検討委員会（第5回）議事録

日 時 : 平成22年8月30日（月）

- 議題 (1) 議事録の確認について  
(2) 建設候補地絞り込みの方法について  
(3) 建設候補地現地視察について  
(4) 今後のスケジュールについて  
(5) その他

時 間 : (第1部) 13時00分～14時00分  
(第2部) 14時15分～17時30分

場 所 : (第1部) 多治見市役所4階会議室  
(第2部) 各候補地（大藪町、松坂町、笠原町）

出席者

(委員) 片山委員長、前田副委員長、笠倉委員、豊田委員、春田委員、宮島委員  
(事務局) 佐藤市民環境部長、浅野環境課長、市川副主幹、小木曾総括主査、桂川主査

13:00開会

1. 委員長あいさつ

2. 議題

(1) 議事録の確認について

事務局から、前回委員会の議事録について修正意見等の有無を確認。特に意見はなく、事務局案の議事録が承認された

(2) 建設候補地絞り込みの方法について

資料1について事務局より説明

(委員長) 資料1の項目2「火葬場が周辺環境に与える影響」の部分で、項目の説明として「基本的に軽微であるが以下について検証する」とあります。「基本的に軽微である」というのは軽すぎないでしょうか。ここで想定されているのは煙や臭いなど物理的に測定が可能な部分について軽微であるという判断だとは思いますが、住民側にとっては周辺環境に与える影響とはそういうものではない気がします。環境要素を、項目として全部網羅することは難しいと思いますが、周辺環境に与える影響が軽微という表現はひっかかる部分です。

(委員) 項目2の「(4) 河川への影響」で排水が及ぼす影響についてですが、長期的な影響は、すぐには判断できないのではないのでしょうか。自然への影響は、災害などによっても予想外のことが起きる場合があるので、やはり「軽微」という表現は合わないように感じます。

- (委員) 軽微であるという記述は無しにして、以下の項目について検討するという表現のみでどうでしょうか。
- (事務局) 先ほどの長期的な視点という考え方については、どのような視点で考えればよいでしょうか。
- (委員) 昔、恵那山トンネルを掘った時に、予定通り順調に掘り進めていった作業が、大量の地下水が出たことによって、工事が非常に遅れたということがあったと聞いています。自然が起こすトラブルは、今、現在の状態からは思いもよらないことが起き得るものだと思いますので、そうしたことも踏まえて考えていくという視点を残しておきたいという思いがあります。
- (事務局) 例えば先日のような局地的な豪雨への対応といったものについてということでしょうか。
- (委員) はい。そうしたことにに関するデータもこれから揃えられるだけ揃えた方がよいのではないのでしょうか。
- (委員) 自然現象に関する問題に関しては、今の時点で予測することは難しいです。最近、気候が変動するようになりましたので、従来の工学では分からないことがこれから多く出てくると思います。こうした設備をつくることによる環境への影響ということになると、法的に定められた規制値をどうクリアするかということを考えるのが通常の方だと思います。
- (委員) 今掲載してある項目は、マイナス点、弊害について書いてありますが、例えば松坂町は造成林ですので、壊した場合、自然環境への影響は少ないと考えますが、逆に笠原のようにすでに山林伐採等が行なわれ、自然環境の復旧が途上のところへ造林等を行なうことは、評価としてプラスになるわけです。マイナスではなくプラスという評価についてどう考えればよいのでしょうか。
- (事務局) プラスの評価については、どこまで配点を持っていくかという判断が難しいと考えます。各候補地を相対的に見るなかで評価に反映させていってはどうでしょうか。
- (委員) 長瀬地区で、年数の経過とともに住宅が増えてきたという経緯があるように、現在の段階で静寂感の中に建てたとしても、40年たって人が集まってきてしまうかもしれません。環境を壊すのか、再生するのか、迷惑施設なのか、色々な考え方があるとは思いますが、人間環境という観点からは、やはり住宅に近いところは候補地に適さないのではないのでしょうか。先ほど申し上げた「プラスの評価」の取り入れ方の検討を加えていただきたいということと、先日のような局地的な水災害についての、ハザードマップの作成について検討してはどうでしょうか。
- (委員長) 非常に重要な意見だと思います。新火葬場を造ることによって、ある種の自然度を上げていくことも可能です。そうして、市が周辺地を確保していかないと、長瀬町と同じような問題が生じるかもしれません。物理的な距離をとり、緑地帯を確保するかどうかによって、随分印象も違ってきます。また、一方では、以前視察にも行きましたが、住宅地の中であって周囲に公園を整備している例もあります。この辺りの議論は十分おこなう必要がありますね。

- (事務局) マイナス要素をいかに減らすかという考え方が、各項目から感じられますが、以前にも意見があったように、相応しい場所という視点で選ぶことも重要だと考えますし、もう少し積極的な理由で建設地を選ぶ必要もあると思います。百点満点でこれを採点して一番点の高いところが相応しいのかというと、必ずしもそうではないはずです。減点要素が一番少ないというだけの話であって、相応しい場所とは違います。例えば項目による採点はそれとして行って、さらに相応しい場所としての順位を決めるといったような2つの方法をとって、最終的には皆さんの総意で決めるなどの方法も良いのではないのでしょうか。点数で決めることには若干危惧を抱きます。
- (委員長) 今のご意見のように、こうした評価は項目で網羅することはできません。何か全然違う要素が出てきたときに、全く違う結果が生まれることがありますので、点数だけではなく、最終的な総合評価は必要だと考えますし、火葬場として相応しい場所という視点は必要ですね。ただ、評価を行なう上で、検討するための項目は必要です。しかし、項目で網羅することはできません。難しいですね。
- (委員) 項目の間に色々な要素があり、点数による評価は大変難しいですね。住民の理解という項目についてですが、いくつか記載がありますが、例えば「(1) 最寄の民家からの見通しの程度」は項目1の「(4) 民家との距離」と重複する内容でもあります。このあたりについては再度見直す必要があるのではないのでしょうか。
- (委員長) 項目について検討し、評価をおこないますが、点数を入れずに、検討要素として考えて、最終的には総合的な判断することもあるのではないかと考えます。項目が細かくなればなるほど評価は難しくなりますね。評価項目について今日結論付ける訳ではないので、他にも項目を出していただいて、さらに検討をすすめるものです。
- (委員) 項目の多くは私達委員では判断できないものも多く、事務局からデータや資料を提出していただく必要のあるものです。事務局に対してこういうデータを提供してくださいという要望を出すというイメージでよいですね。
- (委員) 点数付けについては、定量化できる問題はよいですが、心情的な問題で定量化できない問題もいくつかあります。それらについては、最終的にあらためて話し合いを行っていけばよいのではないのでしょうか。
- (委員長) 報告会や要望から出てきている意見についても、検討の過程で、対象にする必要があると考え、この表にはそれらを加えて一覧にしています。この他にも必要ではないかと考えられる項目がありましたら事務局へお伝えください。それではこれから、候補地現地確認へ行きます。2～3時間程度を要するものと思いますが、皆さんよろしく願います。

事務局より現地確認についての説明（資料2）及び今後の委員会等のスケジュール（資料4）について説明

（委員長） 第2回の地域報告会へは、委員の方も可能であればご参加いただき、市民の皆さんがどのような発言をされるか等、ご確認いただければと思います。第2回報告会では、第1回終了後に開かれた、2回の委員会や先進地視察などを踏まえた視点の変更等がありますか。

（事務局） 第2回報告会は、第1回報告会で多くご質問のあった、「なぜこの4箇所を候補地に選んだのか」「なぜ長瀬町を変更したのか」等について、あらためて資料を作成し、再度詳しく説明するよう予定しています。評価については、まだ始まっていませんので評価を始めましたという程度の紹介に留まるかと考えます。

（委員長） 第1回の意見を聞いて本日の委員会は住民サイドの視点を確認に行く訳ですので、第2回報告会の中でこうしたこともお伝えいただければと思います。

（委員） 根本公民館は前回大変多くの人で、会場が狭く感じましたが、今回も根本公民館を予定されています。大丈夫でしょうか。意見書の提出などの動きもありますので、また多くの方がいらっしゃる可能性があると思います。

（事務局） 事務局としても、他の会場について検討しましたが、根本地区は他に適当な会場が無く、地区懇談会なども根本公民館で行っています。また、小学校の体育館については冷房設備がないため、今回も根本公民館での開催を考えています。

次回第6回委員会の開始時間を13:00から15:00に変更し、議題も「答申案の検討」から「選定基準の検討」に変更する旨確認を行った。また、10月末に予定していた第7回委員会の日程を10月28日13:00からに決定した。

（委員長） 以上をもちまして第5回委員会第1部を終了します。これより第2部候補地現地確認を行いますのでよろしく申し上げます。

午後2時 第1部終了